

1914年7月

統一協会解散命令を請求

文科省、地裁に申立書提出

文部科学省は13日、先祖の因縁で不幸が起ると

す。

不法行為をあおって多額の献金を要求する民法上の不法行為を長期間くり返してきた統一協会（世界平和統一家庭連合）の解散命令を東京地裁に請求しました。解散命令を求める申立て書に約5000点の証拠資料を添えて提出し、受理されました。今後、地裁は非公開で双方から意見を聞き、事件として定める「法令に違反した」として審理するか否かを判断します。

◆関連②⑬面

書すると明らかに認められるとする趣旨側の主張に反論する行為に該当するとの判断

しています。

文科省は、全国靈感商法対策弁護士連絡会とも連携

し、170人を超える被害者にヒアリングをしました。

過去に解散命令が出されたりとアソシングをしました。遅くとも一〇〇年むかひ継続してきた“正体

も形法違反の行為を根拠と

していません。盛山正仁文

科相は、宗教法人は民法に

基づく存在で「民法上の規

律や秩序に違反する行為も

いたと指摘。勧誘や物品販

売、献金獲得のマニュアル

が存在するといふも明らかに

明。民法違反は咎まれない

しました。